



血管外漏出対応ワーキンググループが立ち上がりました

化学療法委員会で、血管外漏出対応ワーキンググループが立ち上がりました。

抗がん剤の血管外漏出は皮膚損傷の可能性があります、

早期発見・早期対応と誠意を持った対応を行うことが治療継続にも重要です。

院内統一の対応ができるように、血管外漏出対応チャート作成に始動しております。

プロイメンドによる血管部位疼痛対策

プロイメンド投与時に、血管部位障害が多く発生することが報告されております。

現状での対応法としては、

①溶解液を生食250mLとする、または側管より生食を追加することにより、
投与濃度をできるだけ薄くする。

②デキサメタゾン等のステロイドを混合し同時投与する。

等が報告されております。血管部位障害が問題となる症例へご検討下さい。



3月外来化学療法センター利用状況 / 利用者数...339名

血液内科	23	婦人科	28
消化器内科	13	小児科	14
肝胆膵・移植外科	30	泌尿器外科	13
呼吸器外科	10	皮膚科	19
消化管外科	62	リウマチ・膠原病内科	5
乳腺・内分泌・甲状腺外科	86	その他	3
呼吸器内科	33	合計	339

Cancer Board 開催案内

- * 消化器 4月18日(木) 19:30~
- * 骨軟部 4月22日(月) 18:00~
- * 悪性リンパ腫 4月22日(月) 19:00~

医療従事者を対象に、各臓器別に診療科横断的な腫瘍カンファランスを定期的で開催しております。
医療従事者であればどなたでも出席できます。

ご挨拶

4月1日より、臨床腫瘍センターにて秘書業務を担当しております。至らない点が多いかと思いますがご指導の程、何卒宜しくお願い申し上げます。(古賀真紀)